



薬師如来像（東福寺）

よ し み 吉 水

4月1日現在 <前月比>
 65歳以上男 1,562人<+9>
 65歳以上女 1,803人<+6>
 高齢化率 19.67%<+0.08>

発行 吉身学区社会福祉協議会

シリーズ自治会自慢

立入自治会

立入町は昔からそれほど大きな集落ではありませんでした。市制発足の昭和45年は69世帯（332人）でしたが、大規模開発が進み平成30年4月現在は、600世帯（1684人）となり、大変大きな町に変貌しました。

わが町の歴史・伝統文化啓蒙のために、平成10年に自治会広報誌「白菊の郷だより」創刊号を発行し、更に平成22年に町民誌「白菊の郷」を発行しました。

新旧住民の融合の場づくりとして、平成9年にバーベキュー大会を220人の参加者でスタートし、平成29年には21回目を迎え、ここ数年は800人前後の参加者となり、類まれなる親睦行事であることを自負しています。

主な活動として、敬老会、高齢者サロン、子育てサロン、納涼祭、グラウンドゴルフ大会、ホテル観賞会、文化祭、日待ち、左義長、心経法要、神輿巡行、総合防災訓練、防犯パトロールなど広範囲で活動しています。老人クラブは年2回の旅行、幼稚園・小学校・子ども会との交流など自身の生きがいくくりや健康維持に取り組んでいます。

一方立入町には東福寺に国・県指定の文化財（薬師如来像）が4体安置され、遠くからの拝観者があることでも知られています。



ホテル観賞会（5月）



総合防災訓練（10月）



文化祭（11月）

「吉身」と「吉水」

なぜ「吉身」なのに、「だより」は『吉水』。不思議に感じておられる方も多いと思いますので、「よしみ」の由来について簡単にご紹介します。

文献上「よしみ」は平安末期の永治2年に栗東町金勝の金勝寺の造物供養者に、吉見国貞の名があり、村名の「よしみ」は、仁安元年、藤原俊成が「君が代は よしみの村の民もみな 春をまつとや いそぎ立つらむ」と詠んだのが初見とされ、吉い水、吉い土、美味しい米の産地として知られていました。

また、元暦元年「山槐記」には近江名勝のひとつに「吉水郷」が数えられています。このため、吉身学区社会福祉協議会だよりが「吉身」の呼称にちなんで「吉水」と題されたそうです。

（資料）守山市誌 資料編 歴史年表等

子育てサロンのご案内

自治会	名称	開催日時	開催場所
元町	元町 子育てサロン	第4火曜	元町自治会館
下之郷	下之郷 ジュメママクラブ	第2水曜	下之郷遺跡 環濠保存施設
吉身 東町	子育てサロン りぼん	第3火曜	吉身東町 自治会館
岡	子育てサロン ちびママ	第2・4 月曜	岡自治会館
立入	子育てサロン くまさん	第3木曜	立入町 白菊会館
浮気	ポヨポヨ ザウルス	月4回 金曜	浮気自治会館
グランド メゾン守山	にこにこ クラブ	第2・4 木曜	グランドメゾン守山 自治会館
レックス 式番館	レックス 子育てサロン	第2・4 火曜	レックス式番館 集会室

【防災ひとくちメモ】 いざというとき、ラジオです！

広範囲にわたって停電した被災地や計画停電の際にも、ラジオが情報源として活躍します。停電でも聞ける乾電池の携帯ラジオを用意しておきましょう。

